

# 学校教育活動全体を通した 安全に関する学習について

大阪教育大学 教授  
学長補佐(学校安全担当)  
学校安全推進センター長

藤 田 大 輔



大阪教育大学では、**附属池田小学校事件の教訓**を基に、  
わが国の教育振興基本計画における  
**自助・共助・公助**の理念の下に、  
教職員、児童・生徒、PTA、地域が参加する  
**共感と協働**に基づく  
安全教育・安全管理・安全連携  
を推進する新たな包括的な「学校安全」の取り組みとして、  
**「セーフティプロモーションスクール(SPS)」**  
の普及を推進しています。



# 「第3次学校安全の推進に関する計画」

(令和4年3月25日閣議決定)

「Ⅱ 学校安全を推進するための方策」

「1. 学校安全に関する組織的取組の推進」

「(2)学校安全計画に基づく実践的な取組内容の充実」  
の中で、

「第3次計画期間においては、セーフティプロモーションスクールの考え方を取り入れ、学校医等の積極的な参画を得ながら、学校種や児童生徒等の発達段階に応じた学校安全計画自体の見直しを含むPDCAサイクルの確立を目指す。」と明記されました。



「教育振興基本計画」（閣議決定：令和5年6月16日）

「Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針」の、

「5つの基本的な方針」

「⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話」の中で、

（児童生徒等の安全確保）

○「第3次学校安全の推進に関する計画」に基づき、組織的・実践的な安全対策に取り組むセーフティプロモーションスクールの考え方を取り入れ、全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けるとともに、学校安全に関する組織的取組の推進、家庭・地域・関係機関等との連携・協働、学校における安全管理の取組の充実等を推進する必要がある。」と明記されました。



# 「第3次学校安全の推進に関する計画」

## (1)家庭、地域、関係機関との連携・協働の推進

- ・地域学校安全委員会やコミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、**地域と協働して**学校安全に取り組んだ学校数
- ・学校安全に関する PTA の参画状況(安全点検、登下校時の見守り活動等)

## 「4. 学校における安全管理の取組の充実」

- ・**児童生徒**が安全点検に参加する活動を行っている学校数
- ・専門的な視点から、学校における具体的な**安全点検**の方法、体制を構築している学校設置者数
- ・重大事故の予防のためのヒヤリハット事例に関する校内での定期共有の状況



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り

## (1)ヒヤリハットの入力

玄関近くのモニター



Chrome bookでの入力画面



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

## ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り

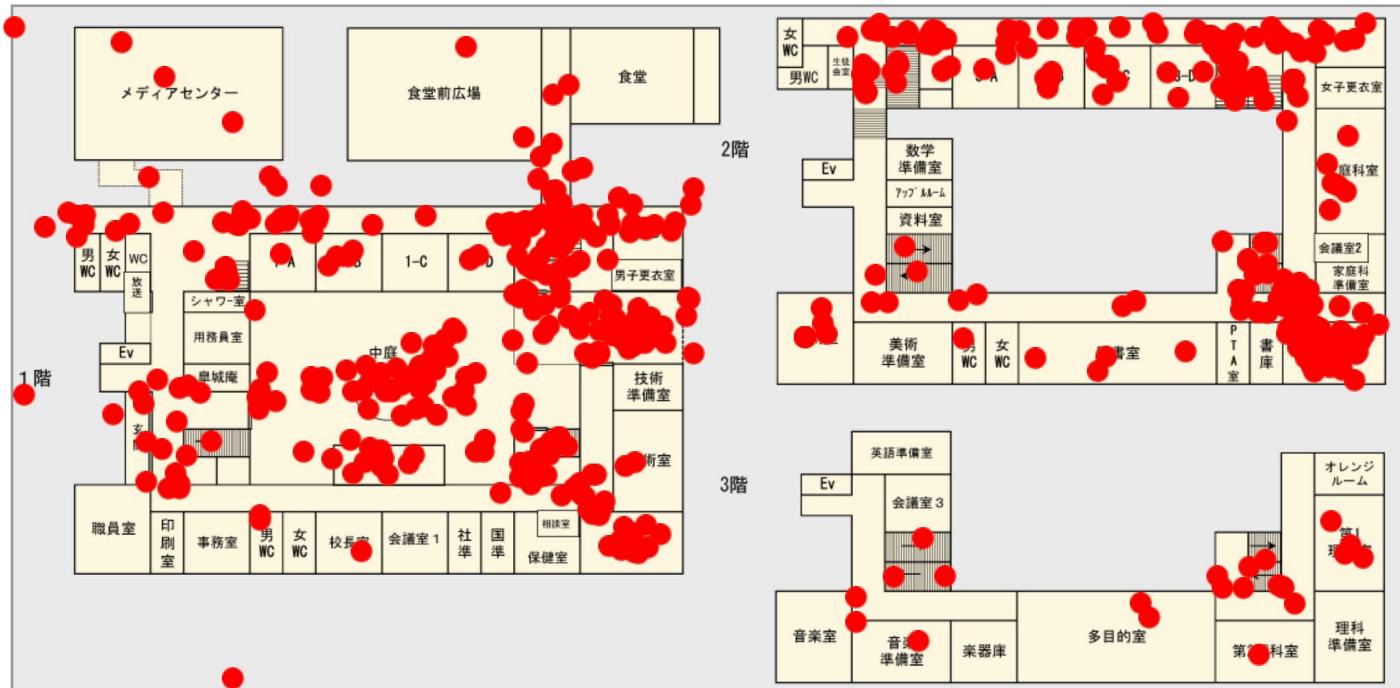
[TOPへ戻る](#)

### ヒヤリハット集計

期間【入力日】		
今月	先月	今年度
<input type="button" value="学年"/>		
全学年	1年	2年
3年		
<input type="button" value="場所"/>		
校内	体育館	グラウンド
その他		
<input type="button" value="時間"/>		
<input type="radio"/> 全てON	<input type="radio"/> 全てOFF	
始業前(HR)	授業中	休み時間
昼休み	放課後	清掃・終礼
部活中	その他	
<input type="button" value="種類"/>		
<input type="radio"/> 全てON	<input type="radio"/> 全てOFF	
転んだ	落ちた	激突
飛来・落下物	物が倒れてきた	ボールが飛んできた
はざまれ	その他	

#### 今年度

全体	転んだ	落ちた	激突	飛来・落下物	物が倒れてきた	ボールが飛んできた	はざまれ	その他
723	219	47	263	10	7	13	15	149



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

## ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

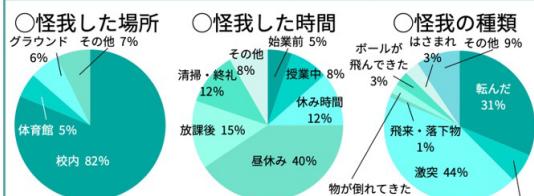
## ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り

### (2)生徒会安全委員の取り組み

毎金曜日の終礼に安全委員がヒヤリハットの入力を呼びかけ、入力してもらう  
⇒集計を円グラフなどを使い、ポスターにまとめ、次週で生徒への注意を促す

#### ヒヤリハットについて 安全委員会

ヒヤリハット一分析ー 11/1~11/27



##### ○特に怪我の多い場所：校内

- ・転ぶ、落ちる、**激突**が特に多い
- ・廊下の曲り角、階段、食堂の前などが特に怪我の多い場所となっている
- ・ほとんどが走っていた、周りをきちんと見ていなかった、といった理由  
→不注意によるものが多い 1人1人が意識する

##### ○特に怪我の多い時間：昼休み、放課後

- ・遊びに行く、食堂に行くなどの理由で、焦って走る人が多い  
→走らない 落ち着く 周りをよく見る
- ・部活動中の怪我  
→周りをよく見る 気を抜かない

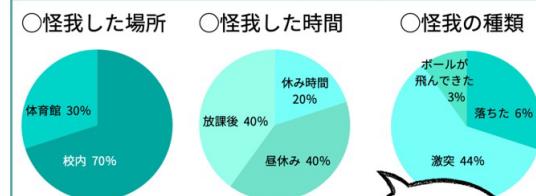
危険を感じた場所やその原因を分析・共有

⇒学校生活を安全に

ヒヤリハットの入力にご協力お願いします！

#### ヒヤリハットについて 安全委員会

ヒヤリハット一分析ー 12/1~12/17



##### ○特に怪我の多い場所：校内

- ・落ちる、**激突**が特に多い
- ・廊下の曲り角、階段、食堂の前などが特に怪我の多い場所となっている
- ・ほとんどが走っていた、周りをきちんと見ていなかった、といった理由  
→不注意によるものが多い 1人1人が意識する

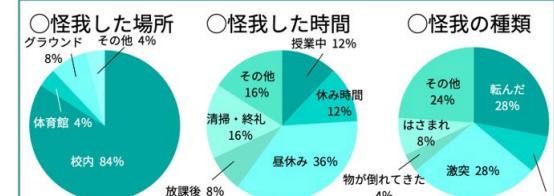
##### ○特に怪我の多い時間：昼休み、放課後

- ・遊びに行く、食堂に行くなどの理由で、焦って走る人が多い  
→走らない 落ち着く 周りをよく見る
- ・部活動中の怪我  
→周りをよく見る 気を抜かない

入力件数：10件

#### ヒヤリハットについて 安全委員会

ヒヤリハット一分析ー 8月～10月



##### ○特に怪我の多い場所・ケース

- ・転ぶ  
教壇に気付かずつまづく、落ちる  
机の左右にかかっている荷物や荷物の紐に引っかかる など



- ・激突  
1D横階段・3D横階段・保健室前階段・廊下の曲り角 など



危険を感じた場所やその原因を分析・共有

⇒学校生活を安全に

ヒヤリハットの入力にご協力お願いします！

⇒学校生活を安全に

ヒヤリハットの入力にご協力お願いします！

# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

## ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り

### (3)授業でデータ分析（保健体育科）

①あなたがピクトグラムを設置する場所を決めた理由をデータを基に示しましょう。

（データとあなたの考えや経験を重ねて導き出した理由）

高いでいる場所でいたとき、角で衝突する人が多い  
他の箇所は危険で、人は地面が滑りやすい

高いで滑ることが多く交通事故予警装置、停電時警報など)

1年生の運動会で運動会しきがあがる

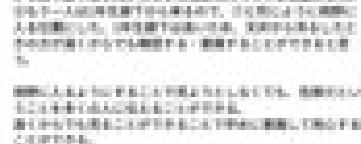
1年生以下は高いで高いで走っていると壁がつづくため、曲がると手に擦れてしまい  
地面が滑るから危険が見えない

あなたがピクトグラムを設置する場所を画像と共に示しましょう。【画像にその際、何故、その位置に設置するのかの理由と効果を述べましょう。

場所：【一年生運動会での100mの奥】  
理由：【ピクトグラムの配置位置に即してわかる】



場所：【廊下】  
理由：【ピクトグラムの配置位置に即してわかる】



①あなたがピクトグラムを設置する場所を決めた理由をデータを基に示しましょう。

（データとあなたの考えや経験を重ねて導き出した理由）

データではいつもかヒヤリハットは起きていなかったが、女子更衣室は最近でよく使う場所なので小さなことでも高した方が安心して見える。また高級感も使うので着脱時間がもっと早いんじゃないかなと予想した。データではいつもある場所が運動だったのでも、ピクトグラムで誰もつけてもらうことで運動を大幅に減らすことができると思った。実際に自分は1年生の運動会で運動しながに使っていたが、今後足りていてないので平日でもより事故が多いと想い、ピクトグラムが効果的だと思った。

あなたがピクトグラムを設置する場所を画像と共に示しましょう。【画像にその際、何故、その位置に設置するのかの理由と効果を述べましょう。

場所：【体育館女子更衣室】  
理由：【ピクトグラムの配置位置に即してわかる】



場所：【廊下】  
理由：【ピクトグラムの配置位置に即してわかる】



## ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り

### (4)改善案の作成（校内ピクトグラム）

ピクトグラムの作成（総合：2年生）

- ・周囲への意識を高める
- ・けがを減らす



# 【高槻市立第三中学校の実践事例】

## 中学校 数学科（安全教育）単元計画略案

単元名：ヒヤリハットから学ぶ「データの活用」とリスク管理

対象学年：第3学年

指導時間：4時間

- 目標：
1. 学校生活におけるヒヤリハット事例を数学的な視点（データ分析）で捉える。
  2. 収集したデータから傾向や潜在的な危険要因を特定し、安全確保のための改善策を主体的に考える。

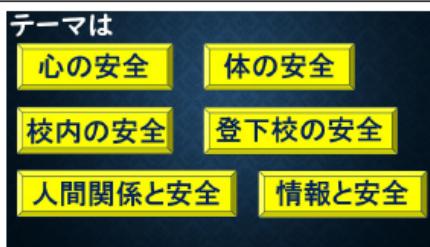
学習の流れ	
1	<p><u>「安全とデータの関係」</u></p> <p>①課題の共有</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 生徒に「学校内で『もう少しケガをするところだった』『ヒヤリとした経験』」について尋ねる。</li><li>2. 小さい出来事（ヒヤリハット）への気づきが重大事故を防ぐための重要な「情報（データ）」であることを認識させる。</li></ol> <p>②「ハインリッヒの法則」の紹介</p>

# 各教科等×安全

# 【高槻市立第三中学校の実践事例】

## 総合的な学習の時間×安全

【総合的な学習の時間: 1年生 身の周りの安全】



テーマ → 課題 → 課題解決まで、学んだ内容の発表資料を作成します。  
スライド ポスター 寸劇  
発表の形は班で考えます。

### 心の安全

#### 三中の心の教室について

心の教室は友達同様で悩んでいたり、大勢いることを諦めてしまう人たちが行く、相談する場所です。  
カウンセラーさんに相談すると楽になったり、自分の中の答えを整理してくれるといつことがあります。  
心の教室は先生や親も来て良いです。  
心の教室は1週間に1回で、木曜日にあります。



### 体の安全

#### 保健室にインタビュー!!

症状: 頭が痛い、擦り傷、人とぶつかった、体調不良  
場所: 教室内、廊下など  
時間: 休み時間、3、4限目  
  
体調不良（頭が痛い・気持ち悪いなど）が多いのは、3、4限目が多いそう!!その原因は主に寝不足だそう。。。寝不足を防ぐために、寝る前はスマホをいじったりせず、早めに寝られるよう意識してみてください

### 校内の安全

- 4廊下  
・ぶつかったら危険  
・走って滑る危険  
・走っている人と歩いている人がぶつかって危ない



### 登下校の安全

#### 【不審者からの被害】

つきまとい、声掛け、傷害、誘拐・監禁などの犯罪被害  
人通りの少ない場所、利用されていない空き地、死角になりやすい場所などで起こりやすい  
また、不審者が出やすい時間帯は、日中の留守にしやすい時間帯、夕方から深夜にかけての暗い時間帯、そして登下校の時間帯

### 人間関係と安全

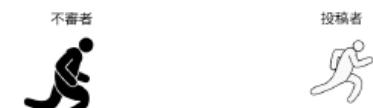
#### 人間関係を良くするには

- コミュニケーションを意識する。
- 相手への理解を深める。
- 状況に応じて適切な距離を取る。
- 苦手な人とは無理に関わらない



### 情報と安全

SNSで投稿した写真や、動画などで、住所が特定される可能性があるということをご存知ですか？



評価について		
◆以下の「教材一冊子・統合」の評価基準に沿り、教材中で評議（総合評合併度）を行います。		
△教材編		
●教材の整いつきを意識した一冊の●科の知識を身につけていました。△課題に向き合ったことができました。△		
△安全と連携について各教科で学び、自分の将来について深く考えることができました。△		
△自分の将来的な夢と結び付けながら考え、積極的に取り組むことができました。△		
△社会や地域の安全を様々な情報から学んだことで、新たな経験状を広げることができました。△		
△「校内安全と避難訓練」を通して、教科の学習目標を達成しながら分かりやすい成果物をつくり上げることができました。△		
△専門家の座談や両者の参考に社会や地域の安全を考え、実践的な活動を実践できました。△		
△などなど		

### 理科・社会×安全

## 校区のハザードマップを分析してみた！



△統合編		
(A)	(B)	(C)
●科に連携の整いつきを意識した一冊の●科の知識を身につけていました。△課題に向き合ったことができました。△	●科を含む複数期を学ぶことがで	△
△安全と連携について各教科で学び、自分の将来について深く考えることができました。△	△課題に向き合ったことができました。△	△
△自分の将来的な夢と結び付けながら考え、積極的に取り組むことができました。△	△	△
△社会や地域の安全を様々な情報から学んだことで、新たな経験状を広げることができました。△	△	△
△「校内安全と避難訓練」を通して、教科の学習目標を達成しながら分かりやすい成果物をつくり上げることができました。△	△	△
△専門家の座談や両者の参考に社会や地域の安全を考え、実践的な活動を実践できました。△	△	△
△などなど	△	△

### 理科・社会×安全

#### 校区のハザードマップを分析してみて

- 校区の多くの範囲で内水氾濫は0.5m未満の被害を受けることがわかった。また、外水氾濫は0.5m～3mの被害を受けることがわかった。
- 校区内では氾濫による水害が発生する可能性があるから、水や食料の確保が必要になると思った。
- 校区には避難場（小・中学校やコミュニティセンター）が多くあった。

### 数学×安全

#### ヒヤリハットについて

ヒヤリハットは重大な事故にはならないものの、直面してもおかしくない事例で、実際に「ヒヤリ」や「ハッとした」体験を伴う出来事。三中ではその出来事を生徒が校内マップに入力でき、みんなと共にできるヒヤリハットマップというシステムがあります。



### 数学×安全

全部	運んだ	落ちた	落す	飛ばす	落す	飛ばす	飛ばす	飛ばす	飛ばす	その他
28	12	0	3	0	0	0	7	0	6	

#### 全部で28件



### 音楽・家庭科×安全

#### 避難所で幼児が困ること

- 食料がない
- いつもも環境が違う
- おもちゃがない、遊ぶ場所がない（公園など）
- 周りの騒音で泣いてしまう
- 家族と離れてしまうかもしれない



### 音楽・家庭科×安全

#### 避難所で中学生として幼児にどんなサポートができる？

- 掃除する
- 保育実習で学んだことを活かして幼児への接し方を考える
- おもちゃがないので、ペットボトルでマラカスを作ったりして一緒に遊ぶ
- 折り紙で色々作って一緒に遊ぶ
- 健盤でいろんな曲を弾いて一緒に歌う



# 技術・家庭科(家庭分野) 学習指導案

# 【高槻市立第三中学校の実践事例】

令和6年11月25日(月)第6校時  
2年5組 33名

※既習の「住生活の学習」と関連付けながら  
「幼児とのよりよい関わり方」を実践したもの

## 1.題材名

A 家族・家庭生活 (2) 幼児の生活と家族 イ「幼児とのよりよいかかわり方」について考え、工夫する

## 2.題材設定の理由(指導の立場)

日常生活で幼児と接する機会が少ない生徒に安全であるはずの住まいの中に、どのようなヒヤリハットが潜んでいるかを幼児の立場を想像して考えさせる。また、想定される家庭内事故の安全対策をどのようにしたらよいかを考えさせることによって、家庭内の住空間の工夫だけでなく、身近にある安全への取り組みに対しても気づき、地域や今後の学習内容である「幼児とのふれあい実習」で活用することにつなげたい。

生徒はこれまでに、「幼児の体と心の発達」「幼児の生活習慣」「幼児の生活の特徴」「幼児の遊びと発達のかかわり」について学習している。指導にあたっては、課題を解決するために、前時までに身に付けた基礎的・基本的な知識や自分の生活経験と関連づけて考えさせること、また、幼児の立場、目線になり、中学生として、幼児の安全を守るためにどのような関わり方や工夫ができるかを考えることができるよう取り組ませたい。

本時では、生徒にアドバイザーという職業を設定し、ある家族に幼児の住まいの安全対策を提案するという学習活動を展開する。消費生活総合サポートセンターの消費者教育教材とデジタルコンテンツの「ぐるっとハウス」を効果的に活用し、視覚的に問題を見つけ、班で意見を交流しながら、考えを深め課題を解決する授業にする。

## 3.題材の目標

- (1) 幼児の発達と生活の特徴、子どもが育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。
- (2) 幼児とのよりよい関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、幼児とのよりよい関わり方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとする。

## 4.題材の評価標準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って



# 【高槻市立丸橋小学校の実践事例】

## 第5学年 体育科(保健)学習指導略案

高槻市立丸橋小学校

1. 単元名 けがの防止(学校や地域でのけがの防止)

2. 単元の目標

けがの防止について理解し、危険の予測や回避の方法、けがの手当の方法など、安全な生活を実践する力を身に付けることができる。

3. 指導計画(4時間扱い)

時	主な学習内容
1	けがは行動と環境が関わって起こることやけがを防ぐ方法を理解する。
2	事例から交通事故が起る原因、交通事故を防ぐ方法を考える。
3(本時)	校内や地域でのけがの事例から、校内や地域でのけがを防ぐ方法を考える。
4	正しい手当の方法、簡単なけがの手当について知り、実践を行う。

4. 本時の目標

学校内のけがを振り返り、危険の回避の方法を正しく判断することができる。

5. 本時の流れ

	学習活動	指導上の留意点

# 【高槻市立丸橋小学校の実践事例】

## 第6学年 図画工作科学習指導略案

高槻市立丸橋小学校

1. 単元名 ここから見ると

2. 単元の目標

奥行きやバランスを理解し、身近な場所を見て想像したことや表したいことを見付け、意図をもって「しかけ」をつくることができる。

3. 指導計画(5時間扱い)

時	主な学習内容
1(本時)	校内で起こるけがの事例から、班で、表現したい場所を決める。
2	班で、見せ方について話し合い、「しかけ」を決める。
3~4	場所の特徴と奥行きを生かし、班で協力して「しかけ」をつくる。
5	互いの活動を見合い、よいところを伝え合う。

4. 本時の目標

学校内で起こっているけがの状況から、表現する場所を決めることができる。

5. 本時の流れ

	学習活動	指導上の留意点

# 【八街市立朝陽小学校の実践事例】

4年生

総合的な学習の時間

「UDC（ユニバーサルデザイン朝陽）」  
～より安心してすごせる校舎へ朝陽小改造計画！～



チャイルドビジョン体験  
低学年目線を調査

「廊下は道路」



ユニバーサルデザインの学習を生かす



## ①生活安全（安全教育）

### ○6年生 総合 「地域改造計画！ もっと安全・安心な町へ」



幼稚園との連携



地域の方々からの聞き取り学習

安全に関するアンケートにおいて、児童の生活安全に対する意識の高さが継続していることが確認できた。  
「自分が安全に安心して過ごせるように気をつけている。」肯定的回答94.8%（前回：95.1%）  
「友達や周りの人が安全に安心して過ごせるように気をつけている。」肯定的回答92.4%（前回：93.4%）

# 【高槻市立芝生小学校の実践事例】

指標4 【Do : 実践】

【安全教育】

## 『みんなで作る「安全」「安心」「楽しい」芝生小学校』

### 生活委員会



全校児童がヒヤリ  
ハットを打ち込む



①ヒヤリハットの使い方を  
知り、各学年に教える

②ヒヤリハットの入力

③集計したデータをもとに、  
取組を考える

校舎内のカーブミラーの  
位置確認など

23



19

# 【高槻市立芝生小学校の実践事例】

指標4 【Do：実践】

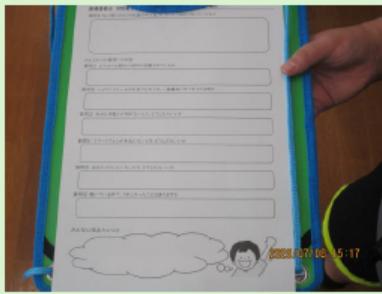
【安全教育】

## 『みんなで作る「安全」「安心」「楽しい」芝生小学校』

### 保健委員会



消防の協力を得て、児童のための出前授業  
心肺蘇生法などを学びワークシートに気づいたことをまとめました



### 体育委員会



ボール、跳び箱などの用具の安全な使い方や遊具の正しい使い方を高学年が1年生に教える



安全な使い方をマスターしたら、高学年にスタンプを押してもらいます



22



20



【大阪教育大学附属池田小学校】  
救命救急訓練



【台東区立金竜小学校】  
ICTを活用した安全マップづくり



【石巻市立渡波小学校】  
マイタイムラインの作成



【石巻市立住吉小学校】  
着衣泳訓練

# 児童生徒による校内安全点椻



【石巻市立桃生小学校】



【石巻市立渡波小学校】

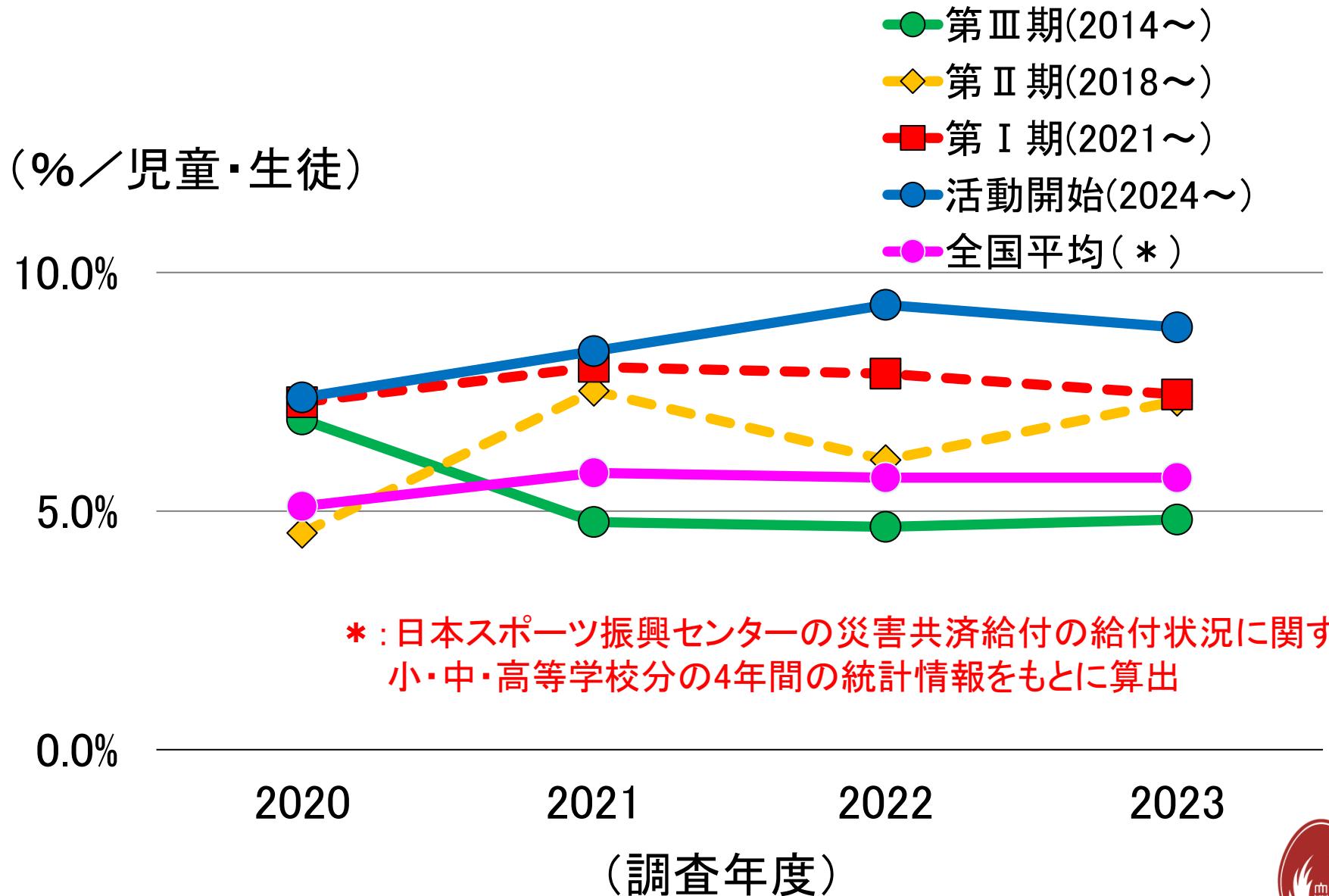


【石巻市立牡鹿中学校】



【宮崎県立高鍋農業高等学校】

# 図.SPS活動期別にみた平均災害共済給付申請割合



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

生徒対象 普通救命講習を活用した安全な学校作り



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

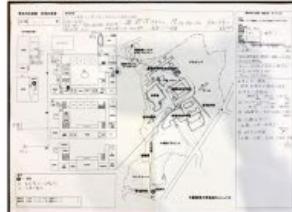
## 生徒会 部活動事故対応訓練を活用した安全な学校作り

### 【R6 ダンス部】 生徒会事故対応訓練に向けて

#### 11/14 問題意識を持つ・想定を考える

##### 【条件と想定の確認】

起こりやすいシチュエーション  
ダンス部がありえる状況  
想定する事象(時間の把握)  
ゴールの確認  
計画を立てる



[https://youtu.be/pp53X\\_5ql\\_M](https://youtu.be/pp53X_5ql_M)

#### 11/18 プランの確認

#### → 顧問と調整

##### 【部員の共通認識】

計画の確認と部内共通認識  
役割分担  
練習に向けての調整  
クラスルームで確認



<https://youtu.be/CwSmoJpLoZg>

(ダンス部：10名、顧問：井場・山本)

#### 11/19 練習①

#### → 11/22 プラン提出

##### 【プランを部員全員実践】

時間を測って計画通りできるかを練習  
顧問がビデオを撮り振り返り  
プランの改善



<https://youtu.be/SeYcte-05Uc>

#### 12/4 生徒対応救命講習受講 → プラン返却

##### 【応急手当を学ぶ(部長、副部長)】

普及員(教員)による講習事象(時間の把握)

「理論と実技」…普及員資格

・AEDの使い方 一連の流れ

講習を受けてのプランの改善



<https://youtu.be/fB5O5djcjHQ>

#### 12/6 練習②

#### 改善

##### 【講習の内容を反映して練習】

部員に救急救命講習の内容を伝える

実際に練習

課題: 少ない人数で対応するためには

話し合い①360° 動画 <https://youtu.be/-Yh1hNIMKbk>  
話し合い②360° 動画 <https://youtu.be/UG4Eda0TvDg>  
話し合い③360° 動画 <https://youtu.be/1GtjhXPpWtl>



[https://youtu.be/X-LHI\\_-IMM](https://youtu.be/X-LHI_-IMM)

#### 12/13 本番

##### 【事故対応の実践】

状況の説明と実践

生徒会中心に意見交流

課題: より少ない人数で  
救命するためには



<https://youtu.be/MDKmMrgayPw>



# 【大阪教育大学附属池田中学校の実践事例】

## 数学の力で、学校と地域の命を守る

### 数学科×安全：「ボロノイ図を用いたAED適正配置の探究」

#### 2 実践 総括的評価課題（最適な場所にAEDを設置せよ）

**AED新設提案**

**AEDを特定した地図**

**ボロノイ図とは**

ボロノイ図とは、空間上に設定された「母点」と呼ばれる複数個の点を中心とした、その範囲を示す多角形の図形をもつ結果図を示すことです。つまり半径に2つ以上のAEDは、各々別の母点の範囲に属するから、AEDが2つある場合でも必ずどちらかのAEDが最も近いということです。ところがある範囲内に複数の母点がある場合、その範囲内に複数のボロノイ図が重なることがあります。そのため、AEDをどこに設置すれば、どの範囲内にAEDが最も近いかがわからず、複数のAEDを設置する必要がある場合があります。ボロノイ図は、シンプルな構成などそのためのものにもよく使われていますが、建築などの工芸でもよく使われています。

**AEDを特定するに至った考え方、手法**

まず、図①のようにAEDが設置されている場所に点をうちました。そして、②のようにそれぞれの直線距離で、ドローネ三角形を構成しました。③で、ボロノイ図をかくためにドローネ三角形のそれぞれの頂点に2つ以上のAEDがある場合は、その辺にボロノイ図を書きなさいとあります。ボロノイ図を書き連鎖的に同じくして、どこにAEDがあるかを明確化することができます。これを繰り返していくことで、どこにAEDがあるかなく、距離をうけならねないのが気付いて、分かります。ボロノイ図が描いたら、④のようにボロノイ図を北側を中心にして、外心からの各三角形の頂点までの距離を半径として円を描き、外心の位置を求めておきます。そして、その円どしきの内側を青色で塗り、出します。ドローネ三角形の中心は、ドローネ三角形の頂点の間の距離を2等分する点になります。その外側の青い部分がAEDの設置場所となります。AEDを設置する場所の選択基準が決まりました。ただし、この青い部分がAEDの半径を超えている場合は、円を青い色で塗り直す必要があります。どうぞ、AEDを設置する場所を表しました。すると、外心を半径とした円が描かれます。だから、AEDを設置する場所を表しました。ここにAEDを設置すべきだという考え方になります。

**ボロノイ図を活用して実社会の問題を解決するために考えた案**

生徒レポート

#### 【提案書の内容】

AEDが足りない場所にAEDを新たに設置する場所を特定する

ボロノイ図を用いて設置場所を作図  
↓  
設置に至る考えを言語化



「守られる生徒」から、科学的根拠を持って「安全を創り出す生徒」へ

# 【宮崎県立門川高等学校の実践事例】



防災カードゲームの開発

68



小学校での防災教育への協力

27

# 【宮崎県立佐土原高等学校の実践事例】

近隣小中学校で開発したアプリを利用した出前授業



The screenshots show the main menu of the 'SHS災害.info' app. It includes icons for various disaster types: Rain Cloud (雨雲), Lightning (雷), Typhoon (台風), Landslide/Dust Storm (土砂災害), Flooding (浸水害), Emergency Supplies (非常用品), Action in Heavy Rain (大雨時の行動), Response Level (警戒レベル), Location Registration (地点登録), Weather (天気), Flood (洪水害), Rain Cloud (雨雲), Earthquake (地震), and Fire Prevention (火の防災).

防災アプリ  
「SHS災害.info」の開発

The screenshots show the 'Michelas' app interface. It features a map of Japan and a detailed map of a specific town. The detailed map shows various locations and hazard information. A message on the screen reads: '事故の種類を選択してください' (Please select the type of accident), '日時の入力' (Enter date and time), '詳細情報を書き込んでください' (Please add detailed information), 'Mapを長押すしthen pinが立ち、場所を設定できます' (Long press the map, then a pin will stand, and you can set the location), and 'My マップに保存' (Save to My Map). There is also a '地図' (Map) icon.

通学路危険箇所共有アプリ  
「ミチテラス」の開発

# 【宮崎県立福島高等学校の実践事例】

## 「逃げトレアプリ」を利用した小学校との合同訓練



### 感想

本年度、行政や地域と連携して取り組んだ防災教育は、「守られる側」から「地域を支える担い手」へと意識を変える貴重な機会となりました。また、活動を通して、「自分事」として捉えることができるきっかけになったと思います。学校が地域の防災拠点としての役割を再認識するとともに、私たちが主体的に行動できる力を養えるよう、この連携を一時的なものにせず、今後もより強固なネットワークへと発展させていきたいと思います。

# 合同型学校運営協議会における安全推進



学区の安全推進を目指した「熟議」





【石巻市立住吉小学校】  
地域ボランティアによる校内安全点検



【石巻市立渡波小学校】  
学校区パトロール

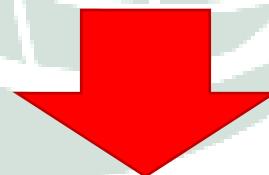


【台東区立金竜小学校】  
PTA・地域協力者の登下校の見守り



【平塚市立土屋小学校】  
交通安全協会による登下校指導

セーフティプロモーションスクールにおける  
安全に関する学習活動は、  
学校における「安全・安心への共感と協働」の  
共有を基盤とし、子どもたちが10年・20年先の  
地域の安全・安心を担う人材へと成長してくれ  
ることを目標としています。



安全・安心の持続可能な発展